

61病院 152名 ・ 座長等4名 参加 (アンケート回答) 61名

テーマ ニューノーマル時代の病院経営 ー新しいビジョンを描くにはー

1. 講演 I 『一民間急性期病院グループの挑戦ー 都市部の地域密着型急性期病院に未来はあるか』

講師 社会医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院 理事長 太田 圭洋 先生

A. 講演を聞いて

大変勉強になった	勉強になった	どちらとも言えない	勉強にならなかった	未記入
23名	33名	5名	0名	0名

B. 感想があれば一言。

- ・ いろいろとやらなければならないことが、凝縮された内容であったと思う
- ・ 現在中医協で何が検討されているかなど、最新の情報を勉強することができた
- ・ 国の情報が興味深かった
- ・ 中央の考えていることを身近に聞くことができ勉強になった
- ・ コロナ対応後、R4.4.1改正が見えない中、勉強になった。今後改正を注視したい
- ・ 厚労省の今後の方針を注意深くみていきたい
- ・ 地域に寄り添った病院を目指すことの重要性を認識した
- ・ 岡山県でも“地域密着型急性期病院”の存在は意義あると感じた
- ・ 『地域密着型の24時ER体制と災害医療の核となる病院を目指す』に対し、自院にも相通じるのがあると、興味深く拝聴した
- ・ 今後様々な政策がある中で、どのように病院経営を安定させていくか具体的に考えないといけないと思った
- ・ 今後の医療の方向性「急性期機能の集約化」と「地域包括ケア」、それ自体は目新しいことではないが厚生労働省の具体的な動きを踏まえると切迫感があり、改めて銘記した
- ・ コロナ対応は十分解説いただけた。希望は、自院の取り組みを半分位聞けたらもっと良かった
- ・ 医師の働き方改革のお話をもう少し聞きたかった
- ・ 演題の内容を深く掘り下げてほしかった
- ・ 講演の内容が自分の方向性と違うと思えた
- ・ 資料が多すぎて論点を掴みにくかった

2. 講演Ⅱ 『地域に根付くブランドの作り方』

講師 福岡ソフトバンクホークス株式会社 顧問(社友) 舘 賢 治 氏

A. 講演を聞いて

大変勉強になった	勉強になった	どちらとも言えない	勉強にならなかった	未記入
29名	23名	8名	1名	0名

B. 感想があれば一言。

- ・ 地域に根付く大切さを勉強させていただいた
- ・ ソフトバンクが強い理由の一端が分かったような気がした
- ・ 職種業務は異なるが、経営手法（収益を上げる働き方）は勉強になった
- ・ 分野は異なるが通じるものが多く感じられ、今後の病院運営の参考になった。目指すものを適切に高く持つこと、数字を絡めての進捗確認など多くの学びがあった
- ・ ブランド確立の裏には、努力と緻密な経営戦略の基に成り立っていると感じた
- ・ 開始数十分聞こえづらかったのが残念だったが、職員が色々とアイデアを出し合っ様々な企画を通して福岡ソフトバンクホークスのファンを増やし、ブランドを確立された内容が聞いて嬉しかった
- ・ 何でもやってみよう。ただしフィードバックは必要。まず行動。強く思った
- ・ オーナーの将来のビジョン(分かりやすい)を、社員に浸透させる大切さを改めて痛感した
- ・ 医療界の発想と違った内容であるが、「受け手がどう思っているか」の視点は、患者満足、患者の思いをどう確認していくかの工夫が大事だと思えた。やり方は何かあるはず
- ・ 「受け手はどう感じているか」考えることが必要!! と自分も思った
- ・ 印象に残ったエピソードは、営業部に「赤字でもいいから」と正直な企画書を提出させて、それを継続することから成功する企画力を養ったお話
- ・ 音声は講演半分聞こえなかった
- ・ 最初の30分が聞こえづらく、もっと聞きたかった
- ・ Zoomで聴講したが、声が聞き取りにくく前半の内容がわかりづらかった
- ・ 前半部分は音声はかなり聞き取り辛く、内容が分からず残念だった

3. 講演Ⅲ 『「攻めるチーム」の作り方 ～一人ひとりが輝く職場～』

講師 健康社会学者 (Ph.D) 気象予報士 河合 薫 氏

A. 講演を聞いて

大変勉強になった	勉強になった	どちらとも言えない	勉強にならなかった	未記入
25名	27名	6名	0名	3名

B. 感想があれば一言。

- ・ いい講演が聞けた
- ・ 元気になった
- ・ 河合薫様の熱い気持ちがつたわった
- ・ 講演の中で講師の先生が言われる一つひとつの言葉に感銘を受けた。チャレンジできる所から始めていきたいと思う
- ・ コロナでストレス職員が多い中、このテーマは必要に感じた
- ・ 組織の活性化のヒントをいただいた。ありがとうございます
- ・ 普段の何気ない対話が重要であることを再認識した
- ・ コロナによって働き方が変わっている。Face to Face の大切さ、何のために働くのかなど自分も考えさせられる内容であった
- ・ あいさつの重要性。傘の貸し借り
- ・ 挨拶を大切に、いつでも傘を借り貸ししたいと感じた
- ・ 傘の貸し借りのできる職場・・・とても理想的で感銘を受けた
- ・ 「挨拶」と「無駄」が大切！というのが心に残った
- ・ コミュニケーションとつながりについて再確認できた
- ・ 声かけの大切さ。支え支えられていることを、繋がっていることを、しっかりと認識していけるようにしたい
- ・ 人とのつながりの大切さを意識していきたいと思う
- ・ 人との繋がりへの投資が大切なことに改めて気づかされた
- ・ 『部下を育成する＝つながりを作る』が印象深く心に残っている
- ・ 「元気になる力」について、また「人と人とのつながり」の大切さを学ぶことができた
- ・ 考えたこともなかった「なぜあなたは働いているのか」的な禅問答的な視点が新しい発見だった。ストレスな人生の雨-傘をだし声を掛ける
- ・ 分かりやすい内容で良かった
- ・ 話に、聴かせる「力」を感じた

4. 今後の経営管理研修会に望むこと、また経営管理研修会に対する意見等をご記入ください

(感想・意見)

- ・医療業界以外の方の話は、異なったものの見方を気づかせてもらえてありがたい
- ・医療機関以外の業界の方からの講演は、とても勉強になった。ありがとうございました
- ・ご専門の先生、業界外の先生と幅広く学べたことが大変有意義だった。ありがとうございました
- ・講演Ⅱ・Ⅲが特におもしろかった
- ・音声のチェックを事前をお願いします
- ・ありがとうございました

(日程・開催時期・開催方法等)

- ・土曜日から日曜日の午後開催していただきたい
- ・講演3コマは長時間で厳しい
- ・講演3本は多すぎると思う(時間も90分)。県北から参加している者にとって18:00までは遅すぎると思う
- ・グループ討議の再開
- ・音声の問題等が無ければ、Web研修会の方が参加しやすく、今後もその選択肢は残してほしい

(希望内容)

- ・病院経営事例集メールマガジンに執筆中の、野々下みどり先生のお話を聞いてみたい
- ・3名のうち1名の講師は、行政(国か県)または大学関係ではいかかがか。
(国:厚労省 中谷祐貴子 がん・疾病対策課長(元岡山県保健福祉部長))
- ・県内の専門医(感染、医療安全・医療の専門医)などの話も聞きたい。(自院にない機能等も学んでもよいかも)
- ・松下政経塾関連の話がききたい(松下幸之助)

*アンケートの記入者

a. 事務長23名	b. 事務長以外35名
	理事長・院長他医師 7
	看護部長他看護職 3
	次長他事務職 14
	MSW 2
	理学療法士 1
	診断支援部 1
	未記入 7

未記入3